



2021年11月24日

各 位

会 社 名 株式会社N J S
代 表 者 名 代表取締役社長 村 上 雅 亮
(コード番号：2325 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 蒲 谷 靖 彦
(TEL：03-6324-4355)

『NJS グループ PLAN2030 脱カーボン時代の成長戦略-』策定のお知らせ

当社は、2021年11月24日開催の取締役会において、別紙のとおりNJSグループPLAN2030を策定いたしましたのでお知らせします。

以上

NJSグループ°PLAN2030

脱カーボン時代の成長戦略



はじめに

NJSグループは1951年の創業以来、地域の水と環境を整備し支える事業を推進してきました。いま、気候変動がかつてない大きな脅威となり人類の行く手に立ちはだかっています。温暖化ガスの排出削減、甚大化する災害への対処は不可欠な課題であり、同時に生活や産業を支えるインフラの健全化についても取組みを強めていく必要があります。

NJSは、これまでの歴史を通じて培った、水と環境の技術とソフトウェアをいかして、この危機と言われる時代の課題に取り組んでまいります。健全な水と環境を次世代に引き継いでいくことは、水と環境に従事してきた私たちのパーパスであると考えています。

この度、脱炭素社会の実現が世界共通の課題として認識が高まったことを契機として、COPの中間年、SDGsの目標年である2030 に向けて、NJSグループPLAN2030—脱カーボン時代の成長戦略を取りまとめました。

多くの皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 村上 雅亮



NJSグループの事業

NJSグループは、上下水道のコンサルティングを中心として、ソフトウェアの開発、インスペクション（点検調査）、事業オペレーションなどのサービスを提供しています。



国内外の上下水道の設計および
水と環境のコンサルタント事業

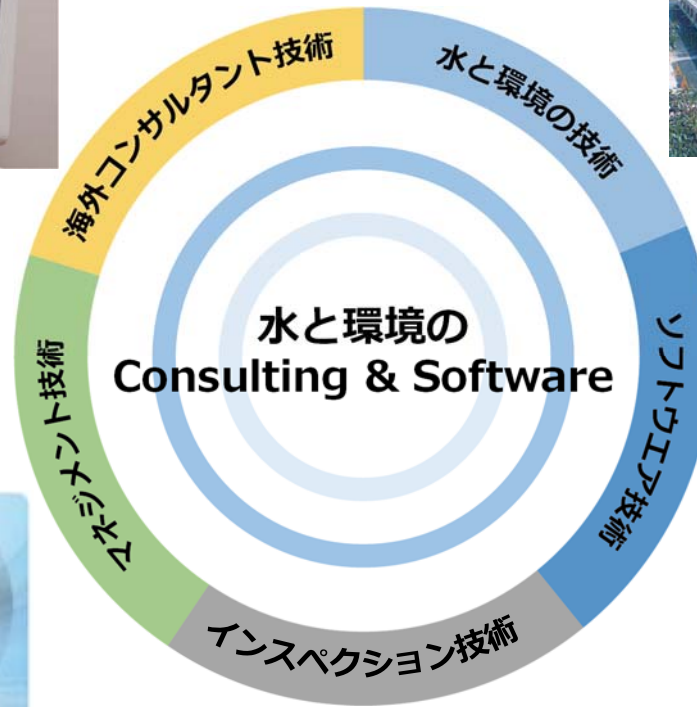


上下水道事業等の運営および
プロセスオペレーション事業

ソフトウェアの
開発・販売・運用支援事業



水と環境の
Consulting & Software



各種インフラの
点検調査・診断サービス事業



 NJS

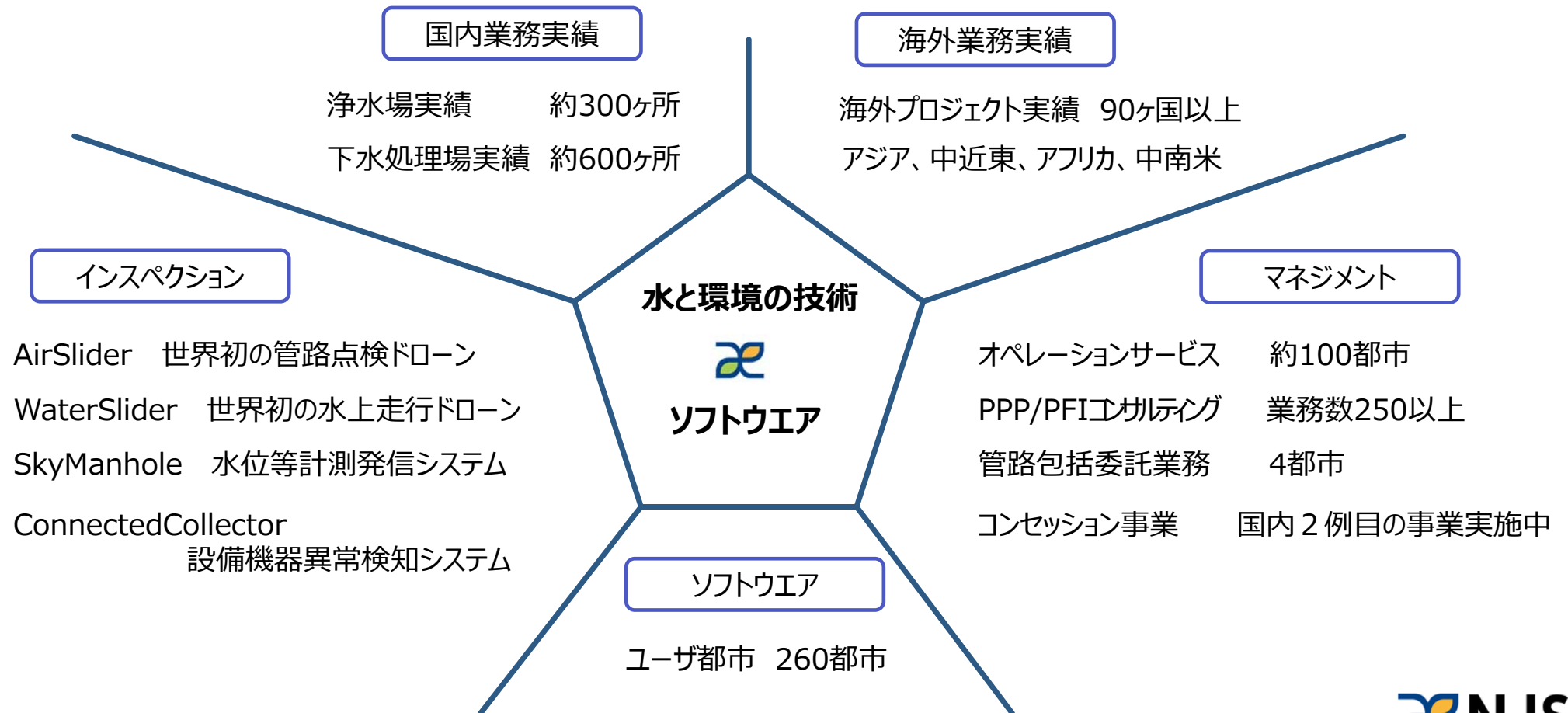
暮らしのなかのNJSの仕事

NJSでは様々な分野の専門家が協力し合い、水と環境の課題を解決するコンサルティングを行っています。水と環境のプロフェッショナル集団として、日本だけでなく世界で挑戦を続けています。

暮らしのなかで利用している上水道や下水道、豪雨からまちを守る雨水排水施設など、インフラを支え続ける仕事です。



NJSの強み



社会課題の変化とNJSの進化

NJSは、1951年の創業以来、時代の水と環境の課題に取り組み、ニーズに対応して事業領域を広げ進化してきました。今日、インフラの老朽化が進み、気候変動の影響が深刻化しています。これに対して、NJSグループは「健全な水と環境を次世代に引き継ぐ」をパーパスに掲げ、社会課題の解決に取り組んでいきます。



創業（1951）

現在

水と環境のコンサルタント事業

海外コンサルタント事業

オペレーション事業

ソフトウェア事業

インスペクション事業

NJSのパーパス



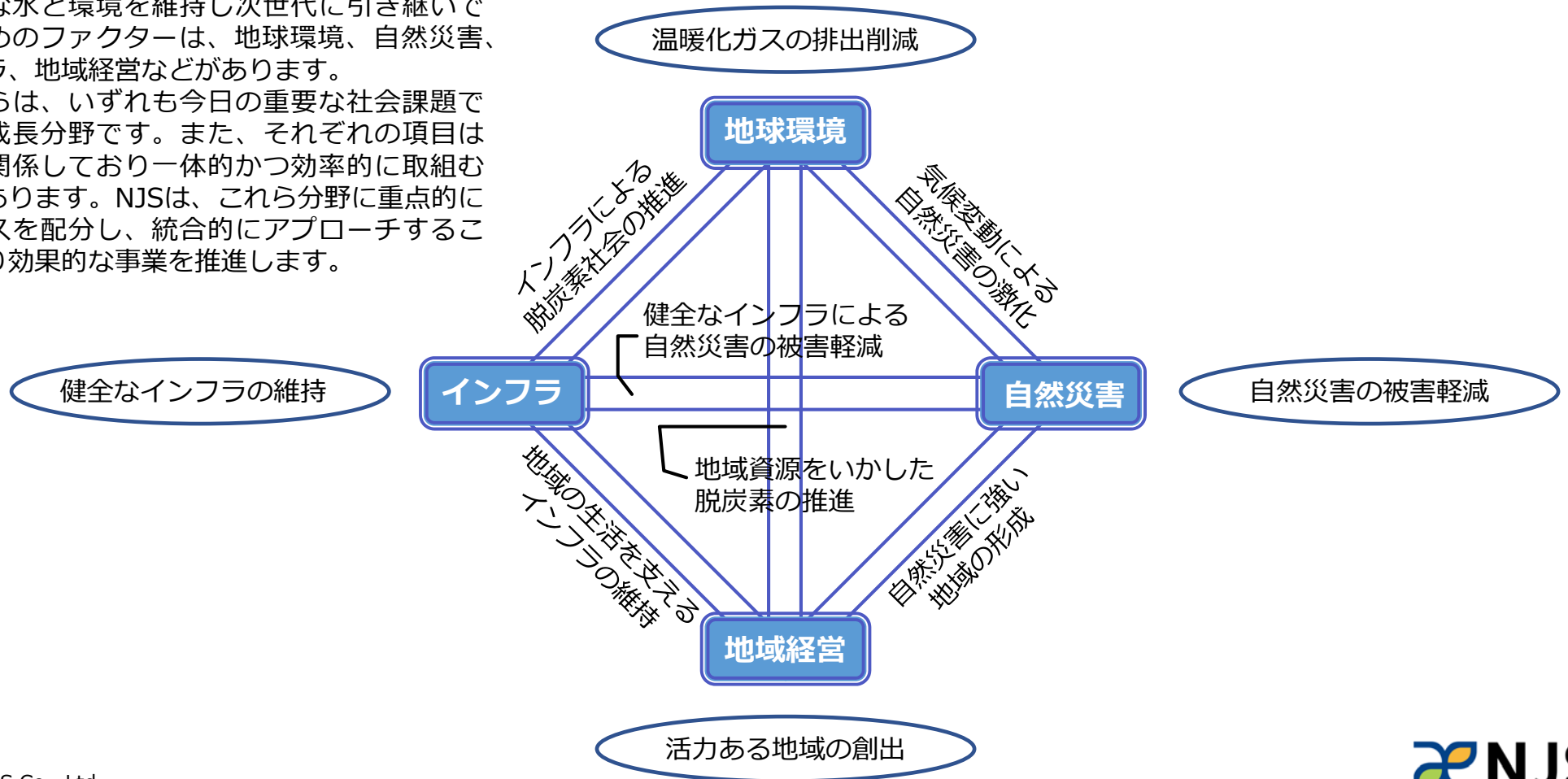
健全な水と環境を
次世代に引き継ぐ

 NJS

水と環境に関するファクター

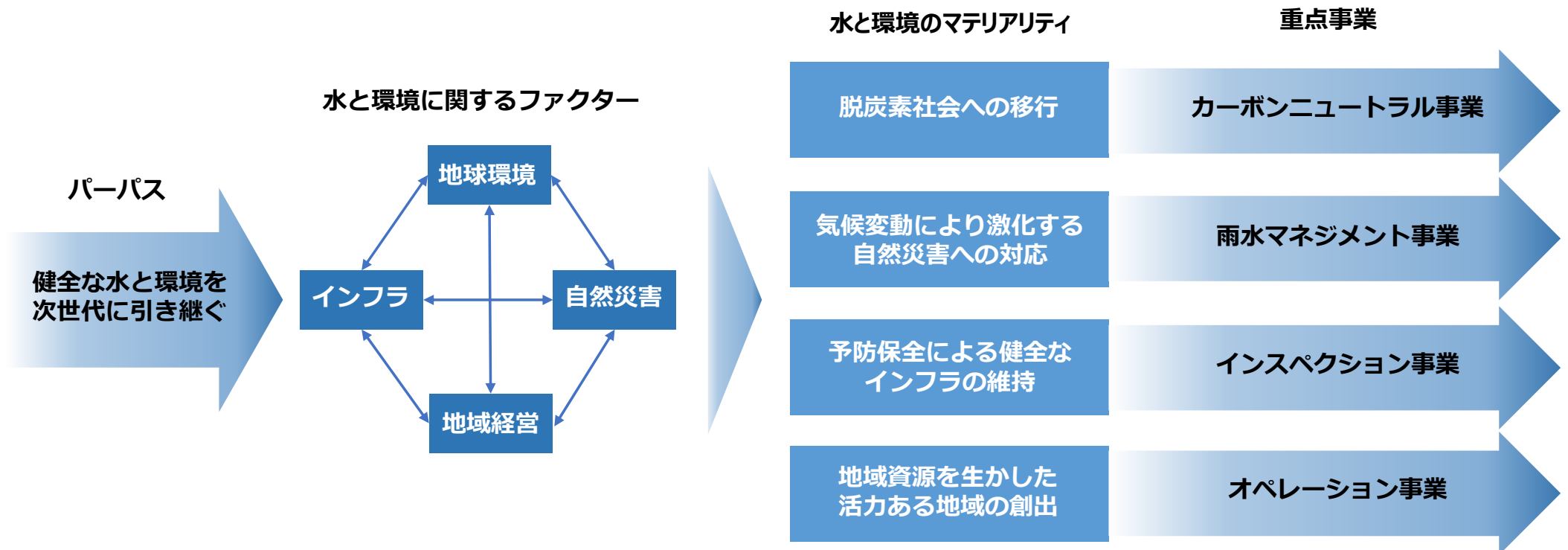
健全な水と環境を維持し次世代に引き継いでいくためのファクターは、地球環境、自然災害、インフラ、地域経営などがあります。

これらは、いずれも今日の重要な社会課題であり、成長分野です。また、それぞれの項目は密接に関係しており一体的かつ効率的に取り組む必要があります。NJSは、これら分野に重点的にリソースを配分し、統合的にアプローチすることにより効果的な事業を推進します。



水と環境のマテリアリティと重点事業

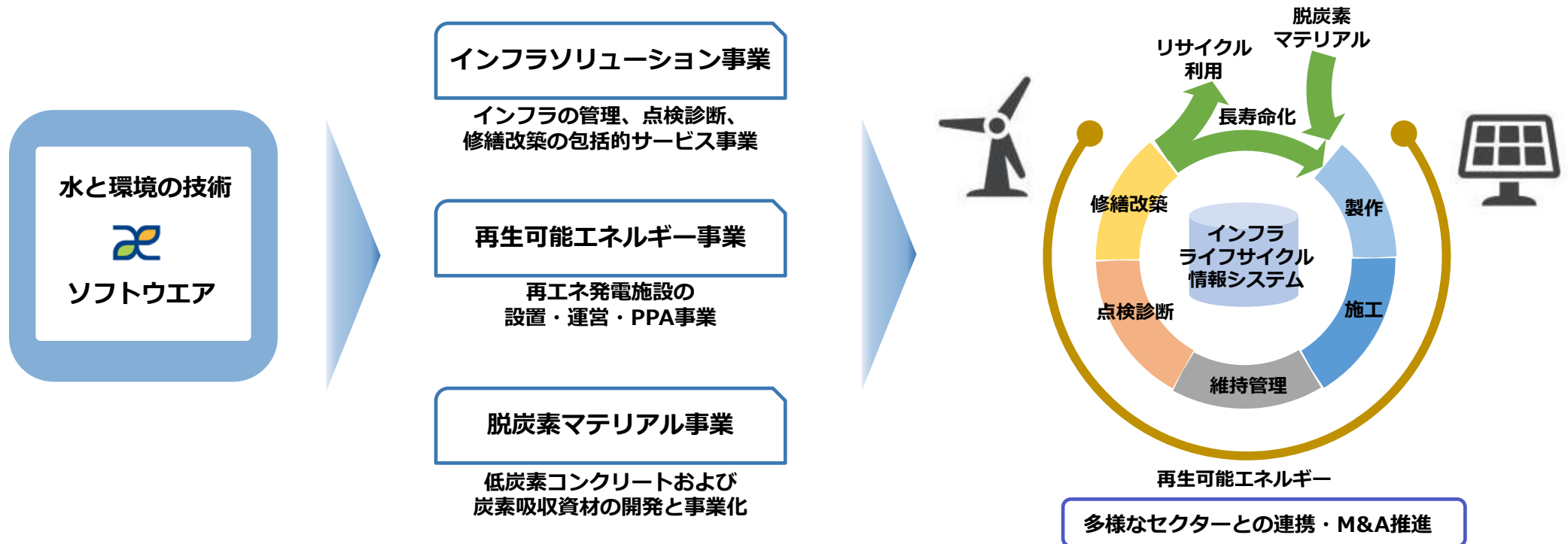
水と環境に関するファクター、地球環境、自然災害、インフラ、地域経営から、マテリアリティを設定し、事業の創出と強化を図る重点事業を、カーボンニュートラル事業、雨水マネジメント事業、インスペクション事業、オペレーション事業としました。



地球環境

カーボンニュートラル事業

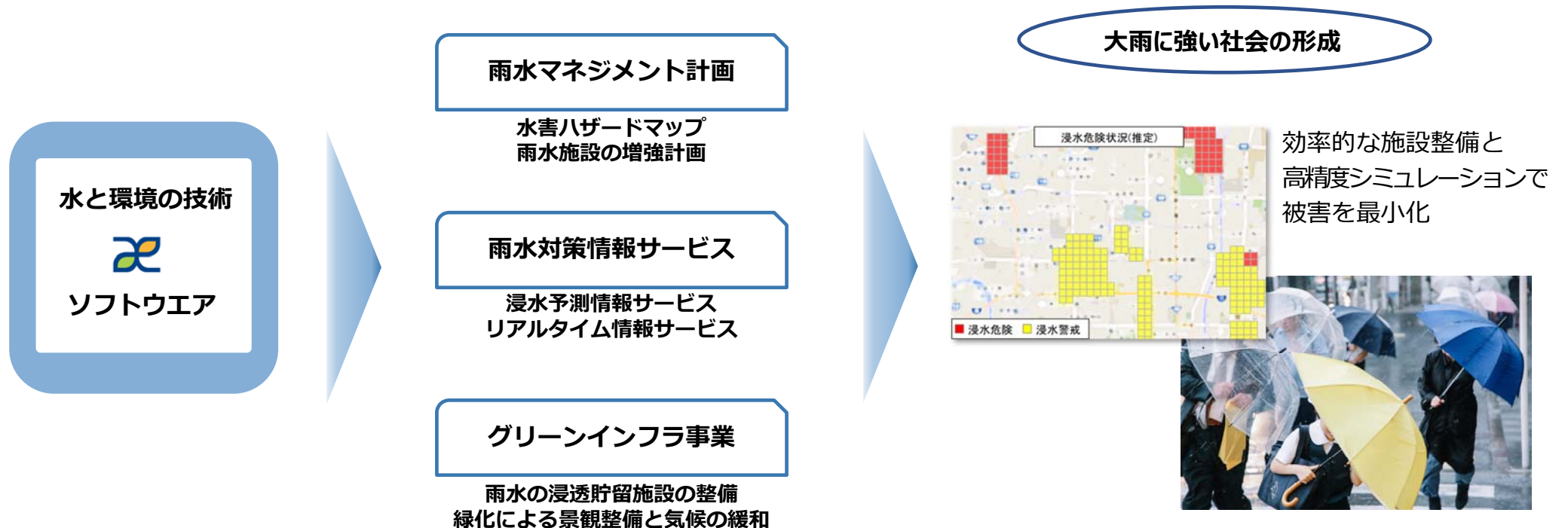
気候変動の抑制には温暖化ガスの排出削減が欠かせません。NJSは、これまで培ってきた、水と環境の技術とソフトウェアを活用して、さらに関係企業との連携により、インフラソリューション事業、再生可能エネルギー事業、脱炭素マテリアル事業を推進します。ライフサイクルを通して最適化を図る、新しい取り組みです。



自然災害

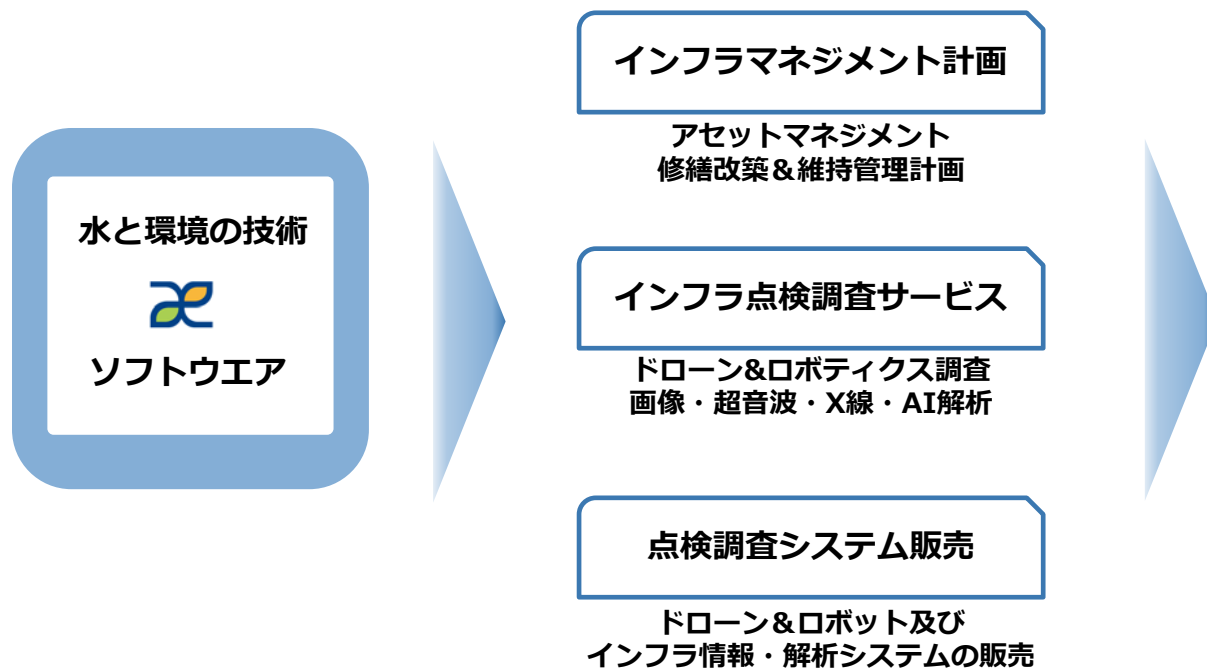
雨水マネジメント事業

気候変動の影響を受け豪雨災害が多発しています。従来にない高い降雨強度の雨が頻繁にかつ長時間降るようになってきました。雨水対策のレベルを一段と上げ、大雨にも強い社会の形成が必要です。このため、雨水マネジメント計画業務の強化、雨水対策情報サービスの事業化、グリーンインフラ事業の推進に取り組めます。



インフラ インспекション事業

健全なインフラの維持は、社会経済の基盤となるだけでなく、災害対策でも欠かせません。また、インフラの長寿命化は資源利用の効率性を高め、環境保全に寄与します。NJSは、インспекションに重点をおき、インフラマネジメント計画業務、インフラ点検調査サービス事業、点検調査システムの国内・海外での販売を推進します。



健全なインフラの維持

省力化、安全性の向上、作業効率向上、精度向上



AirSlider



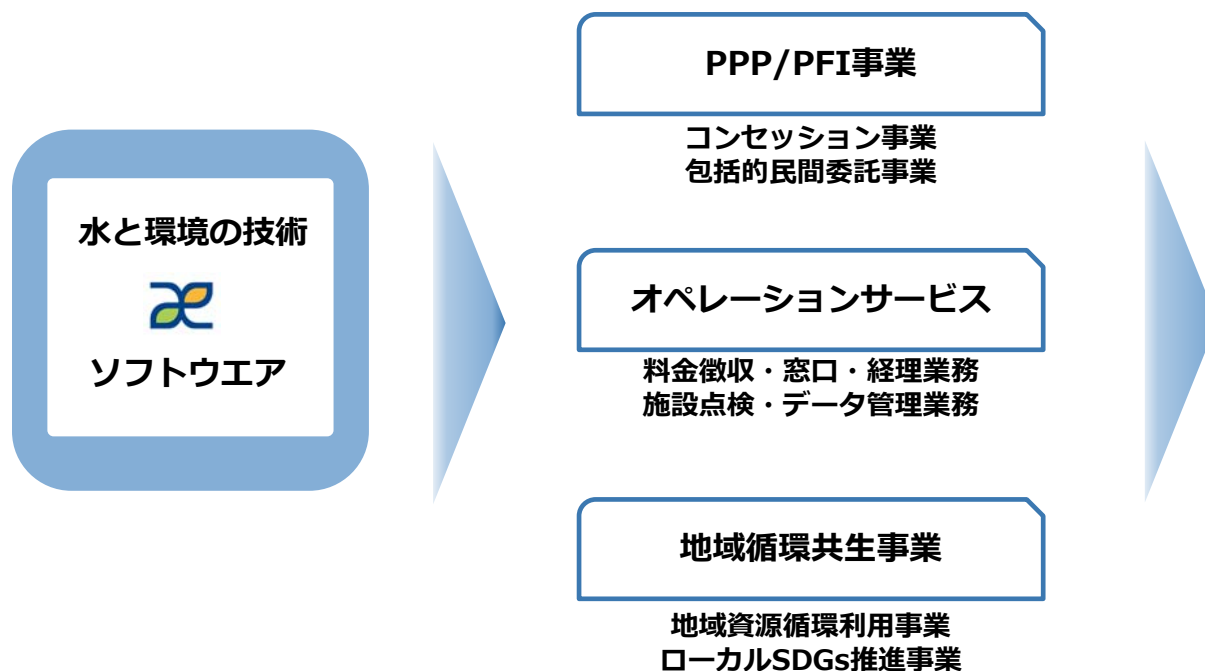
WaterSlider

国内外で業界初の管内調査用ドローン

地域経営

オペレーション事業

脱炭素社会への移行も災害対策やインフラの老朽化対策も地域での取組みがベースとなり、自立・分散型のコミュニティの形成が社会課題の解決に欠かせません。NJSは、インフラのオペレーション事業を通じて、地域コミュニティの再生、雇用の創出、地域経済の活性化を推進します。



持続可能で活力ある地域の創出

地域と一体となりインフラ事業を推進
資源循環、雇用創出、経済活性化等により地域に貢献



基盤強化のマテリアリティ

脱カーボン時代の成長戦略を実現するため、基盤強化のマテリアリティとして、イノベーション、働き方改革と人材育成、ガバナンスの強化を設定し、着実な進展を図るとともに、地球市民としての責任を果たしてまいります。

基盤強化のマテリアリティ

基本方針

実施方針

イノベーション

革新的な技術の創出と
多様な分野との連携推進

- IoT、AI、ロボティクスを用いた新たなサービスの提供
- BIM・CIMの活用等による業務プロセス改革
- 多様な連携による領域の拡大と価値の創出

働き方改革と人材育成

働きやすい職場と生産性向上
多様な人材確保と育成の強化

- 多様な働き方の導入と対応するオフィス環境の整備
- デジタル化時代に対応した健康経営の推進
- 採用活動の強化及び多様化する役割・機能に応じた育成

ガバナンスの強化

健全で透明性の高い経営
経営情報の発信と対話の促進

- 取締役会や報酬指名諮問委員会の機能強化と透明性確保
- コンプライアンスと品質管理の徹底によるリスク低減
- あるゆるステークホルダーへの情報発信と建設的な対話

経営指標

既存事業の伸長、新事業の創出、多様なセクターとの連携、M&Aにより、2030年に、売上高300億円、営業利益40億円を目指します。



中期経営計画
(2021-2023)

